

# 令和7年度「学校評価アンケート」結果の概要

令和8年2月  
宮城県美田園高等学校

## はじめに

この度は、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の学校運営に活かしてまいります。

アンケート結果の概要を、以下のとおり4つの視点からご報告いたします。

### 1. アンケートの回答率について

#### ・回答率の継続的な低下

生徒の回答率はR5年度の30%から、R6年度17%、R7年度16%と低下傾向にあります。母数は増加している一方で、回答者数が減少しており、回収方法の検討が課題といえます。

#### ・保護者の関心の維持

保護者の回答率は15%と生徒と同水準ですが、前年度（14%）からは微増しています。対象者数が増える中で一定の回答数を維持しており、学校運営への関心が一定程度あることが伺えます。

### 2. 肯定的な意見が多かったもの

#### ・郵送物による情報提供（設問10）

保護者の回答で「よくあてはまる」が36%、「だいたいあてはまる」が57%と、9割以上が肯定的な評価を得ています。学校だより等のアナログな手段が、家庭との確実な情報共有に貢献しています。

#### ・施設設備への高い満足度（設問12）

生徒の回答で「よくあてはまる」が71%、「だいたいあてはまる」が27%と、合計98%が肯定的な評価をしています。特に生徒にとって学習環境が非常に整っていると認知されています。

### 3. 否定的意見が多かったもの

#### ・基本的生活習慣の指導（設問4）

教職員の回答で「あまりあてはまらない」が35%に達しており、生徒（19%）や保護者（10%）と比較しても、教職員側が課題を感じている状況が浮き彫りになっています。通信制ではあるものの、ある程度の基本的生活習慣を身に付けてほしいと考えています。

#### ・業務の効率化（設問17）

教職員対象の設問において、「あまりあてはまらない」23%、「あてはまらない」8%となっており、肯定的な回答（計66%）はあるものの、他の項目に比べて組織的な効率化への課題が目立ちます。

### 4. 昨年・一昨年から大幅に変化があったもの

#### ・スクーリングへの保護者評価（設問3）

保護者の「よくあてはまる」という回答が、R5年度24%からR7年度34%へと10ポイント上昇しました。また「よくわからない」がR5年度15%からR7年度6%へと減少しており、活動内容の透明性が高まっています。

#### ・進路指導への評価向上（設問5）

生徒の「よくあてはまる」という回答が、R 5年度 23%→R 6年度 36%→R 7年度 42%と、2年間で大幅に上昇しました。進路行事や講座の整備が着実に生徒に浸透していることが推察されます。

#### まとめ

学校運営改善のための御意見などでは、本校の教育方針への評価をいただく一方で、学習支援のスピード感や、教職員の対応、学校生活の規律について多くの課題を御指摘いただきました。

特に「相談したくても声をかけづらい」という不安や、レポート提出に関する制度上の負担は、生徒の学習意欲に直結する問題であると受け止めております。

今回のアンケート結果を踏まえ、生徒の学力向上、心の成長、そして社会の一員としての自立を支援するため、教職員一同、さらなる改善に努めてまいります。